



看護部通信



2021年4月

2021年4月、リハセン看護部では新規採用看護師5名と同機構である循脳センターから介護福祉士8名を迎え入れることができました。特に介護福祉士の増員は以前より強く要望していたことであり、うれしい限りです。切磋琢磨し合う仲間が増えたことを喜ぶだけではなく、患者さんへより良い看護・介護を提供することで目に見える成果が出せるよう、気を引き締めて新年度に取り組みしましょう。（看護管理室）

「新年度に向けて」

3病棟看護師長

ようやく過ごしやすい季節となり、新年度を迎え新たな気持ちで望みたいものですが、なんだかすっきりしないというのが正直なところです。COVID19が世界中で猛威をふるい始めてから2度目の春を迎えるとは想像していませんでした。生活環境は一変し、生活様式の変更も余儀なくされ、当たり前の日常が変化していく中で、人とのつながりの希薄さ、県外の家族と会えないことの寂しさを実感しています。一方で生活の不便さから見出した発見や、自制心の成長、離れて暮らしている家族への愛情など、あらためて気付く機会になりました。

今年度から新しい立場となるにあたり、管理業務への不安はありますが、多くのスタッフの協力を得ながら「安全・安心・働きやすい」職場環境となるように努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「安全」「安心」
「働きやすい」
職場環境作り



「スタッフと共に頑張ります」

2病棟看護師長

4月から看護師長という役割を担うことになりました。当院では11人いる看護師長のうち4人が男性となり、男性看護師長の割合としては過去最高になりました。

一般的にも男性看護師の人数は増加していますが、私的には2002年にTOKIOの松岡昌宏さんが主演を務めた「ナースマン」というドラマが世間的に男性看護師の存在を広めたきっかけになったような気がします。実際に私が看護師になった頃の日本の男性看護師の割合は3.1%でしたが、2018年には7.8%まで増加しています。最近では「にじいろカルテ」というドラマで北村匠海さんが男性看護師役を演じました。ドラマや医療現場で男性看護師に触れ合う機会が以前より多くなっていることは個人的には励みになります。

これからも全てのスタッフと共にベストをつくしていきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

ベストを尽くす
男に二言はない

